

**「中学校理科教育支援員」が学習に効果
～電気学会の教育支援員が武蔵村山市立中学校の理科授業を支援～**

平成19年12月7日
社団法人 電気学会

当学会は、武蔵村山市教育委員会と本年5月に締結した協定書^{*1}に基づき、本年6月から武蔵村山市立中学校への理科教育支援を実施しております。

^{*1}：協定書名：中学校理科教育支援事業の実施に関する協定書（平成19年5月締結）

この理科教育支援は、武蔵村山市立中学校における理科教育の活性化及びその一層の充実を図るとともに、中学校理科教員の指導力の向上を図ることを目的としております。

具体的な支援は、電気学会が認定したIEEJプロフェッショナル^{*2}の中から適任者として選定した者を「理科教育支援員」として派遣し、理科授業の中の「電流の授業」（の約半分）に対し、理科担当教員の補助として実験指導等を行うことを中心としております。

^{*2}：電気学会が、所定の要件（指導、研究等の実績がある、在籍期間が10年以上、等）を満たした会員に対して、付与する資格。

6月～10月に行われた武蔵村山市立第二中学校2年生への理科教育支援^{*3}に引き続き、現在、同第五中学校2年生各学級への理科教育支援を行っております。

^{*3}：同第二中学校2年生への理科教育支援は、理科授業の「電流の授業」の約半分に対し、理科担当教員の補助として実験指導等を計約10時間程度行いました。

同第五中学校への理科教育支援も終盤にさしかかり、12月7日には、同第五中学校2年5組の理科授業において、担当教員及び支援員のもとで、生徒自らが「モーターづくり」を行い大好評でありました。^{*4}

^{*4}：この生徒自らが行う「モーターづくり」が同第二中学校で行われた際は大好評であったため、12月7日の同第五中学校2年5組においても、大好評であると確信しております。

来年度以降の予定は未定ですが、関係者は、今年度の成果を踏まえて、同市立中学校全体への展開も視野に入れて検討をしております。

以 上